

令和6年度

目白大学心理カウンセリングセンター公開講座

令和6年 10 月 5 日【土】

緩和ケアと心理臨床

ーその歴史を振り返りこれからを考えるー

時 間 15:00～17:00

対象者 対人援助・医療・福祉に関わる専門職
(心理職・看護師・精神保健福祉士など)

参加費 無料、要事前申込

会 場 目白大学新宿キャンパス7号館7200教室
東京都新宿区中落合4-31-1

お申込はこちら



病のありようは変化します。どのような病も、治療の方法は確実に進歩し、それに伴って、患者さん・家族の直面する問題も変化していきます。患者さん・家族の支援に携わるものたちは、その時代の患者さんの問題に敏感である必要があります。新たに生じる問題を意識し、その知識をもって、支援を考える必要があります。時代とともに変わるものもあれば、一方で変わらないものもあります。それは、病を得た患者さんのところ、それを支える家族のところ、患者さんと家族を最大限尊重し、応援したいと思うわれわれのところです。

緩和ケアの歴史をふり振り返り、緩和ケアにおける心理臨床について考えたいと思います。

講師

小池 眞規子先生

目白大学名誉教授
公認心理師・臨床心理士



国立小児病院神経科、東邦大学医学部附属病院小児科を経て、1992年より国立がん研究センター東病院に勤務、終末期医療における心理ケアに携わる。2001年目白大学着任、同大学心理学部長・心理カウンセリング学科長等歴任。

目白大学
心理カウンセリングセンター

【お問い合わせ】

電話番号：03-5996-3137

メールアドレス：counseling@mejiro.ac.jp